

press release

# 遊ぶべし 江戸の子ども絵・おもちゃ絵大集合!

くもんの子ども浮世絵コレクション

江戸の子ども絵・おもちゃ絵大集合!

Play with Ukiyo-e: Children's and Toy Ukiyo-e in the Edo Period from the Collection of Kumon

展覧会 平成30(2018)年 1月5日(金)～2月12日(月・振休) 会期中無休

開館時間 9:00～17:00  
※金曜日は19:00まで、入場は閉館の30分前まで  
※1月5日(金)は10:00開場



11月10日(金)から  
前売券発売中!

料金	一般	1,200円 (1,000円)
	高・大学生	800円 (600円)
	小・中学生	500円 (300円)



 **広島県立美術館**  
Hiroshima Prefectural Art Museum

- JR広島駅より約1km ●広島城より約400m
- 市内電車(「八丁堀」で乗り換え)白島線で「縮景園前」下車20m
- ひろしまめいぶる～ぶ(市内循環バス、JR広島駅新幹線口のりば発着)「県立美術館前」下車(白島線沿い)

## 【開催趣旨】

江戸時代の文化を生き生きと表現した浮世絵には、「役者絵」や「美人画」だけでなく、子どもが主役といえる作品が数多く存在します。

本展では、子どもの生活を描いた「子ども絵」をはじめ、親子や家族の情愛を伝える母子絵、子どもが鑑賞や遊びに用いる「おもちゃ絵」などを、鈴木春信や喜多川歌麿、歌川広重、歌川国芳、歌川芳藤らの作品によりご紹介します。子どもを慈しむあたたかな眼差しや、元気に<sup>はつらつ</sup>澆刺と遊ぶ子どもの姿が表現された浮世絵、さらには、画中に登場する遊具や絵巻、屏風を含めた約170点を展示。新春にふさわしい「福」や「笑い」を呼ぶ作品など、日本人の美意識を支える「遊び」の要素に注目し、大人も子どもも楽しめる浮世絵の世界をご紹介します。

## プロローグ 浮世絵と江戸文化 — 様々なジャンルに描かれた子どもたち —

浮世絵のジャンルは、「美人画」や「役者絵」、「武者絵」といった定番の主題を扱ったものから、各地の景観を描いた「名所絵」、ユーモアあふれる「戯画」、物語や逸話等のパロディである「見立絵」など多岐にわたり、江戸文化の豊かさを今に伝えています。

プロローグでは、次第に数を増しつつ生み出された、子どもが登場する様々な浮世絵を軸に、その主題の幅広さをご紹介します。浮世絵は、明和(1764-72)初期に開発された色鮮やかな<sup>たしよぐすり</sup>多色摺の「錦絵」の普及とともに発展し、やがて欧米諸国にも大きな影響を与えました。絵師や彫師、摺師といった複数の匠たちの連携と、緻密な作業から生まれた華やかな摺物。今や世界で愛される「UKIYO-E」を支える「匠たちの手わざ」も見どころです。

## 第1章 愛される子どもたち — 江戸の暮らしと四季風俗 —

「子宝」という言葉が知られるように、子どもは古来より子孫繁栄のシンボルである一方、「七つまでは神のうち」といわれた江戸の子どもたちの命は、現代よりずっとはかないものでした。そのため、子どもの無事な成長を祈り、祝う行事が多く行われるとともに、病魔や悪霊から子どもを守る護符としての役割を持つ浮世絵も生まれました。

この章では、子どもの日常生活に四季の変化や年中行事、風習などを織り込んだ、江戸の暮らしを伝える作品を主にご紹介します。浮世絵に描かれた愛すべき子どもの姿には、吉祥を表すおめでたさと、健やかな成長を祈る家族の願いが込められているのです。



喜多川歌麿 《風流子宝船》 文化2(1805)年

## 第2章 遊びと学び — 子ども絵から知る江戸文化 —

歌川広重の「風流おさなあそび」は、少年・少女それぞれの多様な遊びを一覧化した、広重の子ども絵の代表作です。

第2章では、遊びに興じる愛らしい子どもを描いた作品の数々を、画中に登場する貝合わせの道具や盤双六といった遊具とともにご紹介します。さらには、寺子屋などの学びの場面を描いた浮世絵や、江戸から明治期に制作された教訓を伝える絵双六といった、遊びながら学べる作品や教材も展示。異国の文化や文物を取り込んだ、時代性を伝える作品も含まれます。細部まで細やかに表現された子どもたちの遊びや学びの姿は、江戸の文化を知るための貴重な情報源でもあるのです。



歌川広重 《風流おさな遊び(女の子)》  
天保初期(1830~44年頃)



歌川広重 《風流をさなあそび(男の子)》  
天保初期(1830~44年頃)



### 第3章 子どもと人気のキャラクター — ヒーロー・妖怪大集合 —

強くて逞しいヒーローは、今も昔も子どもたちの憧れといっ  
てよいでしょう。長じて源義経となる少年・牛若丸や、昔話に  
登場する桃太郎などは人気のキャラクターで、なかでも、古  
くから魔除けの色とされた赤い肌を持つ金太郎は、お守りの  
ような存在でもあったことから、喜多川歌麿や歌川国芳をは  
じめ多くの絵師が主題として取り上げています。

一方で、悪役にもなり得る幽霊や妖怪たちも、浮世絵の  
人気のモチーフでした。こうした異界の住人たちは、江戸の人  
々にとってはおそらく今よりもずっと身近な存在であるとも  
に、絵師たちの想像力をかきたてる格好のキャラクターだっ  
たともいえるでしょう。



歌川国芳〈坂田怪童丸〉  
弘化2~3(1845~46)年頃

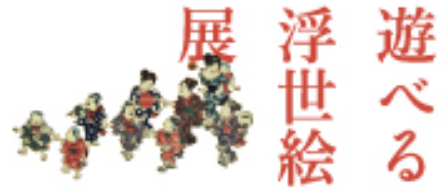
### 第4章 遊べる浮世絵 — おもちゃ絵の楽しみ —

子どもが鑑賞や遊びに用いる「おもちゃ絵」には、現代の  
遊具や教材の先駆けとなる要素が多く含まれています。

この章では、多くの傑作を残し、「おもちゃ絵芳藤」の異名  
をもつ歌川芳藤の作品を中心に、デザイン性にも優れた「お  
もちゃ絵」の数々をご紹介します。謎々に当たる「判じ絵」や  
双六、図鑑のような「尽くし絵」。錦絵を個々のパーツに切っ  
て立体的に組み上げる「立版古」は、手間と時間をかけなが  
らも、平面時には思いもつかなかった完成状態が楽しさを呼  
んだことでしょう。実際に使われ、遊び終わると捨てられてし  
まうことが多かった「おもちゃ絵」。貴重な現存作から、その  
機知やユーモアをお楽しみください。



歌川芳藤 〈五拾三次之内猫之怪〉  
嘉永元~2(1848~49)年



## 【媒体掲載用の画像提供について】

※いかなる場合も本プレスリリースからの転用はご遠慮ください。  
※都合により出品作品が異なる場合がございます。ご了承ください。  
※画像については提供が可能です。ご掲載の際に画像がご入り用の場合は、当館までお問い合わせください。  
※画像掲載の際には、画像とテキストが掲載されたレイアウト原稿を事前に当館までご提出いただき、1週間程度お時間を頂戴いたします。ご了承ください。

## 【関連イベント】

**講演会**(共催: 広島県立美術館友の会)

「遊べる浮世絵 -こんなに楽しい江戸文化-」

日時: 1月5日(金) 13:30~15:00(開場13:00)

講師: 藤澤 紫(本展監修者、國學院大學教授、国際浮世絵学会常任理事)

会場: 地階講堂

※聴講無料。申込不要。定員200名(先着順)

### 学芸員によるギャラリートーク

日時: 1月12日、1月19日、1月26日(金) 11:00~

: 1月19日、2月2日(金) 18:00~

※入館券をお求めの上、会場入口付近にお集まりください。

### ウェブレポーター大募集

日時: 1月12日(金) 17:00~18:30

受付場所: 3階ロビー 実施場所: 3階企画展示室内

対象: ホームページ、ブログ、ツイッター、フェイスブックなどのSNSにて  
情報発信をされている一般の方

※申込不要 ※実施当日に限って本展にご招待します。

## 【縮景園連携】

ワンコイン縮景園 本展入館券のご提示により、100円で縮景園にご入園いただけます。



## 【開催概要】

メインタイトル：くもんの子ども浮世絵コレクション 遊べる浮世絵展 江戸の子ども絵・おもちゃ絵大集合！

英語名：Play with Ukiyo-e: Children's and Toy Ukiyo-e in the Edo Period from the Collection of Kumon

料金：一般 1,200(1,000)円 高・大学生800(600)円 小・中学生500(300)円

※( )内は前売り・20名以上の団体料金

- ・学生券をお求めの際は学生証のご提示をお願いします。
- ・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳及び戦傷病者手帳の所持者と介助者(1名まで)の当日料金は半額です。

前売券販売所：広島県立美術館、セブン・イレブン(セブンチケット)、広島市・呉市内の主なプレイガイド、画廊・画材店などで販売しています。

## 開催クレジット

主催：広島県立美術館、イズミテクノ、中国新聞社、広島ホームテレビ

後援：中国放送、広島テレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、エフエムふくやま、尾道エフエム放送、FMIはつかいち76.1MHz、FM東広島89.7MHz

協賛：広島県信用組合

特別協力：公文教育研究会

企画協力：青幻舎プロモーション

問い合わせ先：広島県立美術館

〒730-0014 広島市中区上幟町2-22

TEL.082-221-6246 FAX.082-223-1444

E-mail m-kaminishis4677@pref.hiroshima.lg.jp (上西宛)または、  
iroeuma2@gmail.com

担当：学芸課 藤崎 綾

広報担当：総務課 上西 真由美 一色 直香